

# くずまきの魅力満喫



## 友情の輪広げ14日間

くずまき高原牧場

### スノーワンダーランド2008

#### 【プログラム】

- 1月5日 出会いと仲間づくり
- 6日 酪農体験に挑戦
- 7日 アニマルトラッキング
- 8日 乳製品加工体験
- 9日 雪上大運動会
- 10日 酪農ホームステイ
- 11日 酪農ホームステイ
- 12日 イグルー設計 ペアレントデー
- 13日 イグルー作りに挑戦初日
- 14日 イグルー作りに挑戦2日目
- 15日 イグルー作りに挑戦3日目  
雪中キャンプ
- 16日 心残りタイム 郷土料理  
体験 雪中キャンプ
- 17日 雪の劇場づくり 雪中  
キャンプファイヤー
- 18日 感動のフィナーレ・さよなら  
パーティー

「スノーワンダーランド2008」は、一月五日から十八日までの二週間の日程で、厳しい寒さの続く、くずまき高原牧場を舞台に仲間との関わり方や命の大切さについて学びました。

八回目を迎える今回は、県内のほか東京や福岡など六都県と米国の二人のきょうだいを含めた小学一年生から中学一年生まで三十人が参加。入校式で参加者は「葛巻ならではの皆さんの体験をしよう」、「自分と向き合おう」として「二週間で友達の輪を広げよう」と三つの誓いをして体験は始まりました。

酪農体験やホームステイ、イグルー作りなど葛巻ならではの多彩なプログラムに参加者は大はしゃぎ。時には個性のぶつかり合いでけんかになることもありましたが、カウンセラーや仲間と一緒に解決策を考え、さまざまな困難を乗り越え、友情の輪を広げた二週間。子どもたちは大きく成長し、名残を惜しみながらも再会を誓って、それぞれの家族の元へ帰って行きました。

スノーワンダーランドには、今年も二人の葛巻高校の生徒がスタッフとして参加。子どもたちと共に笑い、共に考え、共に泣き、常に行動を共にして得たものは一生の思い出と財産になったようです。



①全員の力を結集して完成させたイグルー（氷や雪の塊で造ったエスキモーの冬の住居）。ここにみんなで2日間キャンプ②酪農家にホームステイした子どもたちは、トラクターで引っ張るそり遊びに大はしゃぎ（上野勝俊さん方・小田）。初めての経験に、アメリカから兄と参加した堀井彩夏ちゃん（6歳）は、翌朝「お父さん、今日もお願い」と上野さんにそり遊びをせがみ、とってもお気に入り③11戸の酪農家がホームステイを引き受け、タカナシ乳業の工場見学をしたグループも④「それ～、好きなだけ雪遊びをしよう」の掛け声で、一斉に駆け出す子どもたち⑤羊の毛刈りも体験「羊さん、寒くないの?」と、やさしく見守りました

### 大変だったけど、貴重な体験をした2週間は宝物

葛巻高校2年の大石将誠さんは、子どもたちの悩み事の相談に乗ったり助言を行うカウンセラーとして、和野正幸さん（同2年）は運営スタッフとして参加し、子どもたちの学習や体験を支えました。

朝5時に起床し、夜の12時、スタッフミーティングを終えて就寝。2週間にわたるボランティア活動は、楽しさの反面、厳しい試練もたくさんあったといいます。

#### 活動で自分自身が成長

今後に生かしたい

まさゆき  
和野正幸さん  
17歳・新町

これまで経験したことのないレベルの高い活動で、自分の弱い部分に気づき「もっと成長したい」との思いが日々強まった体験でした。「覚えた知識は活用することで身に付く」と学んだことを、ドリーマーの活動に生かしたいと思います。



#### 普段できないことを体験

充実した14日間

のぶあき  
大石将誠さん  
17歳・田子

自分を鍛えることと子どもたちの接し方を学ぼうと参加。ドリーマーで活動してきたことが通用しない場面がいっぱいで、未熟な自分を痛感しましたが、スタッフや子どもたちと一緒に考える中で、得たものはたくさんです。充実の14日間でした。



大石さんと和野さんは、共にジュニアリーダーズクラブ・ドリーマーで活躍しています

## スタツフとして支えた 二人の葛巻高生